

## 会 議 録

会議の名称	第6回一般廃棄物処理施設整備検討委員会
開催日時	平成29年10月5日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	能代山本広域交流センター 第1研修室
出席委員等	<p><b>【委員】</b></p> <p>鶴田 俊 公立大学法人秋田県立大学 教授  濱田 雅巳 公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長  川村 之聡 秋田県 生活環境部環境整備課 課長  藤田 定 能代市 (委員長)  淡路 和春 藤里町  淡路 高江 藤里町  加賀谷 道則 三種町 (副委員長)  平塚 三千男 三種町  辻 正英 八峰町  金平 公明 八峰町</p> <p><b>【オブザーバー】</b></p> <p>池田 誠 能代市 環境産業部環境衛生課 課長  村岡 徳一 藤里町 生活環境課 課長  川村 義之 三種町 町民生活課 課長  佐々木 高 八峰町 総務課 課長</p>
欠席委員等	<p><b>【委員】</b></p> <p>宮腰 慶聡 能代市</p>
事務局職員等	<p><b>【能代山本広域市町村圏組合】</b></p> <p>事務局長 佐藤 隆一  事務局次長 袴田 功  環境衛生課 課長 有山 勇  環境衛生課 課長補佐 田村 典勝  環境衛生課 主査 笹村 敬之</p> <p><b>【説明補助員】</b></p> <p>一般財団法人日本環境衛生センター  環境事業第一部 部長 佐藤 幸世  環境事業第一部 事業推進役 是則 恭士  環境事業第三部 環境事業課 課長 池本 久利</p>
次 第	<p>1 開会  2 委員長あいさつ  3 案件  (1) 候補地の概要について  (2) 一次選定について</p>

	<p>(3) 二次選定の評価項目について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配布資料	<p>資料1 候補地の概要について</p> <p>資料2 一次選定について(案)</p> <p>資料3 二次選定の評価項目について(案)</p>
発言者	案件・発言・結果等
事務局	1) 開会
委員長	2) 委員長あいさつ
事務局	<p>3) 案件</p> <p>(1) 候補地の概要について  &lt; 資料1及び映像により説明 &gt;</p> <p>第5回検討委員会において、用地選定の手法について検討を行った結果、組合及び構成市町からの情報提供により候補地を抽出し、一次選定から三次選定まで行い、2～3箇所程度の有力候補地を選定することとした。</p> <p>情報提供を依頼した結果、候補地は17箇所となっている。</p>
事務局	<p>(2) 一次選定について  &lt; 資料2に基づき説明 &gt;</p> <p>第5回検討委員会で設定した一次選定の条件に照らし合わせて、候補地の適性を確認した結果、3箇所が立地条件や法規制条件を満たしていない。</p>
委員長	一次選定の条件を満たしていない3箇所について、候補地から除外するというのでよいか。
委員	異議なし。
委員長	候補地17箇所のうち3箇所を除外することとする。
事務局	<p>(3) 二次選定の評価項目について  &lt; 資料3に基づき説明 &gt;</p> <p>二次選定では、法規制条件、地形・地質条件、環境条件、交通条件、防災面等の条件について評価項目等を設定する。</p> <p>二次選定では数箇所程度の候補地に絞り込み、三次選定では二次選定の点数を合わせた総合点で2～3箇所程度の有力候補地を選定する。</p>
委員	二次選定では、候補地を何箇所に絞るのか。
事務局	5～6箇所を想定しているが、点数差も考慮して判断したい。
委員	①都市計画法については、3点以外の候補地はないと思われる。全ての候補地が同じ点数になるとしたら項目を削除してもよいのではないか。

事務局	点数の差はつかないと思われるが、一般廃棄物処理施設の用地選定に必要な基本的項目として、確認の意味で設定している。
委員	④地形の状況について、ごみを搬入するにも難しいような山間部の候補地があるが、施設の建設は可能か。
委員	山の多い地域では、敷地面積が確保できることを前提とし、取り付け道路を整備することで搬入が可能となれば、建設している例がある。山間部でも、今後、交通環境が改善される可能性があるか見極めながら評価をすればよいと思う。
委員	⑨収集・運搬効率の10段階評価とは、具体的にどのように評価するのか。
事務局	各候補地の平均値を基準として、例えば上下に数%刻みとし、10段階に区分して評価したいと考えている。
委員	⑨収集・運搬効率について、人口重心点からの距離としているが、旧市町村役場からの方が一般的には分かり易いのではないか。
委員	ごみの収集・運搬距離を計算するには、行政の中心より人口重心点の方が論理的にはよいと思う。ただし、行政は住民にとって利用しやすい場所にあることから、どちらで評価しても大きな差はないと思われる。
事務局	収集・運搬効率については、市町村合併前・合併後の人口重心点や市町村役場を検討し、合併後の人口重心点の場所が妥当だと思われることから案として示している。参考として、旧市町村役場からの距離についても計算したい。
委員	収集・運搬効率は、直線距離で計算するのか。
事務局	一般的に通行が想定される道路とし、実距離により計算したい。
委員	⑩災害対策（津波・洪水）について、浸水想定区域内の場合2mを基準としているが、他施設では対策が進んでいる。例えば、スロープを設置してごみピットの投入ステージを高くし、電気設備関係も浸水想定高さ以上に設置している。津波等に対しては、この評価だけではなく、施設計画においても対応できる部分があると考えられる。
事務局	評価としては、比較的容易に対策が取りやすい高さとして2mを基準にしている。施設計画では、地震の発生確率や想定浸水深に応じて対策を講じることになる。
委員	⑫災害対策（地震）の活断層上にある場合が1点となっているが、点数がつかないことも考えられる。
事務局	有効敷地内に活断層が存在しても、建屋や杭の位置を活断層から離すことにより施設を整備できる場合もあるため1点としている。

委員	この地域は降雪量が多く、雪の影響が考えられる。災害対策として津波・洪水や地震を設定しているが、雪も災害の1つと考え評価すべきではないか。
事務局	雪の影響については、⑧周辺道路の状況の冬季対策で評価したい。
委員長	他に意見がなければ、この評価項目で進めることでよいか。
委員	異議なし。
委員長	原案どおり決定し、次回の会議で二次選定を行うこととする。
委員長	4) その他 第7回検討委員会については、本会議と同様に非公開とし、会議録・会議資料を一部公表としたいと思うがよいか。
委員	異議なし。
委員長	第7回検討委員会は非公開とするので、資料の取扱いに十分注意するようお願いしたい。
事務局	第7回検討委員会については、12月～1月に開催を予定している。
	5) 閉会
	以上